

5. 4年間を振り返って

4年間を振り返って

前マネージャー 小比賀 陽 菜 (4回生・茨木)



はじめに、4年間支えてくださったラグビー部関係者の皆様、本当にありがとうございました。1回生の頃はジャージの管理や試合準備、各種申請からマネージャーとしての活動が始まり、地道な作業ですが、重要な役割を担うのだという責任を感じていました。先輩方がラグビー祭、合宿や遠征の手配、ホームページ運営などより大きくて責任のある仕事をされているのを見ながら、上回生になることが楽しみでもありました。実際には、大きなことにチャレンジできる分、責任は重くなり、不安になることが多かったように思います。同期のスタッフやマネージャーの皆の助けがなければ、4年間やりきることができなかつたと実感しています。常に周りを見ながら先のことを考えなければならないマネージャーの活動は、私にとって学生生活最後の挑戦でした。ラグビー部が多くの人に愛され支えられている部活であることは、マネージャーを通してより強く実感できたと思います。多くの方々と出会えたこと、貴重な経験を沢山させて頂けたことは、これからの人生において私の財産です。社会人では、ラグビー部での経験を胸に、活躍できるように頑張りたいと思います。

4年間本当にありがとうございました。

4年間を振り返って

前マネージャー 江口 友規 (4回生・同志社)



こんにちは。マネージャーをしていました江口友規です。

まずは、無事同志社大学ラグビー部を卒部できたことがとても嬉しいです。また、4年間、部活ができたのは沢山の方々に支えてもらったからです。なので、皆様への感謝の気持ちでいっぱいです。

私は4年間の部活を振り返ると、思い出すことが沢山あります。それは、自らプレーヤーからスタッフに転向したことや、個人の力を大きく超えた組織のことや、他人との付き合いや、チームの目標が達成できなかったことなどです。しかし、やるからには勝たないといけないし、やるからには結果を残さないといけないと思いますが、結局どれをとってもそれが全くできませんでした。なので、私は4年間の出来事を決して美化せず、今後の人生では絶対に繰り返さないという決意をしています。私は、4月から東京にあるシロカ株式会社という家電メーカーで働きます。上記の想いが通じて内定を頂いたご縁のある会社です。この会社で魂を込めて一生懸命働こうと思っています。

最後になりましたが、支えてくださった方々の中でも両親には一番感謝しています。私は、これまで無限大の愛情を注いで育ててもらいました。そんな恵まれた環境を作ってくれた両親を尊敬しています。東京に行くこともとても寂しがっていますが、立派になっていつか帰ってきて恩返ししたいと思います。

また、同志社大学ラグビー部にも恩返ししたいと思っています。ありがとうございました。

4年間を振り返って

前学生コーチ 安藤 航平 (4回生・天王寺)



私におきましてこの大学4年間を振り返りますと多くの思い出が残っております。高校時代、廃部の危機にあったような大阪府の1公立高校でラグビーをしていた私にとって、同志社大学ラグビー部は憧れでした。そのため高校ラグビー引退を機に同志社大学に進学することを決め、無事入学することができました。しかし、入部当初は全国レベルの高校出身者が多い中で周囲のレベル、練習の厳しさについていけず退部も考えた時期もありました。しかし、そのような中でも手を差し伸べてくれる家族や同期の支えがあったおかげでラグビーを続けることができました。初めて試合に出てから少しずつチャンスを頂き、紺グレのユニフォームを着ることもでき、非常に思い出深いものになりました。そして、このチームが大好きになりこのチームで日本一になりたいと思うようになりました。しかし、結果は遠く及ばず悔しい結果となってしまいました。勝つことが当たり前ではなく、それは部員全員の努力の賜物であるということを改めて感じる機会となりました。この4年間を通して様々な経験をし、非常に濃い4年間になったと思います。1日1日を全力で駆け抜けた日々を大切にこれからも過ごしていきたいと思っています。

4年間ありがとうございました。

4年間を振り返って

前学生コーチ 竹村 草太 (4回生・小倉)



日頃より、同志社大学ラグビー部にご支援及びご声援を賜り、誠にありがとうございます。

4回生学生コーチの竹村草太です。この4年間は私自身を大きく成長させてくれた期間だったと感じています。特に私が選手から学生コーチに転身してからの2年間はとても貴重なものでした。学生コーチとして同年代の選手にラグビーを教える、選手がストレスを感じずスムーズに練習を行うといった事はとても難しく、改めて、選手として当たり前と感じていたことは当たり前ではなく、多くの人に支えられて成り立っているのだと感じました。また、コーチという視点でラグビーを見る事で、今までに感じていなかったラグビーの面白さ、奥深さに気づかされました。個人的には4年時にAチームに関わる事ができ、Aの試合の勝ちも負けもグラウンドで選手とすることが出来たのは、かけがえのない経験だと感じています。結果は関西5位で終わってしまい悔しいものでしたが、必ず後輩達が関西優勝、大学日本一を達成してくれると信じています。今後はOBとして同志社大学ラグビー部を支え、応援していきたいと思っています。

これからも同志社大学ラグビー部の応援をよろしく願いいたします。4年間、ありがとうございました。